

かわさきエコドライブ宣言

エコドライブは、自動車排出ガスに含まれる二酸化炭素（CO₂）や大気汚染物質を減らすことができるため、地球温暖化防止などの環境対策につながります。さらに、燃料費の節約や交通安全にもつながるなど、メリットがたくさんある自動車の運転方法です。

市ではエコドライブを推進するため「かわさきエコドライブ推進協議会」を2007年2月に立ち上げ、3月に開催した「かわさきエコドライブ宣言&記念講演」において、市長自ら宣言文を読み上げ「かわさきエコドライブ宣言登録制度」をスタートさせました。



●かわさきエコドライブ推進協議会の取り組み

当協議会は、14関係団体、4事業者及び5行政機関で構成し、次のような取り組みを進めています。

- ・かわさきエコドライブ宣言登録制度を進める。
- ・エコドライブに関する周知及び啓発を行う。
- ・関係団体、関係機関及び事業者と連携して講習会等を開催する。

●かわさきエコドライブ宣言登録制度

市内の自動車を使用する事業者及び在勤・在住の市民の方々とともにエコドライブを進めていくことを目的に宣言登録制度を開始し、登録していただいた方にはステッカー等を配布しています。



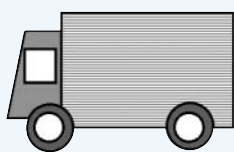
●2006年度エコドライブ啓発・推進事業

- ・エコドライブ講習会
11月21日川崎マリエンで事業者向けエコドライブ試乗・講習会を開催したほか、市民向け講習会などを計4回実施しました。
- ・エコドライブコンテスト
環境省が主催するコンテストに本市は協力自治体として市内事業者の参加を呼びかけました。全国で175事業所が参加した中で、川崎市内事業者が環境大臣賞に輝きました。
- ・エコドライブ診断システム
神奈川県自動車販売店協会と連携し、市内の自動車販売店7店舗において、エコドライブの支援装置である「エコドライブ診断システム」を営業車に載せ、販売員のエコドライブに対する認識を高めるとともに、エコドライブの推進者として育成しました。
- ・イベント
夏の省エネキャンペーン、エコカーワールドや川崎発！ストップ温暖化展等のイベントにエコドライブブースを出展し、パネル等の展示及びリーフレットの配布をとおり、エコドライブの推進を呼びかけました。

●通常運転とエコドライブの比較

エコドライブでどれだけ環境が良くなるの？

ディーゼルトラック（大型）の場合



環境への効果
NOx →15%
PM →51%
CO₂ →20%
削減

ガソリン乗用車の場合



環境への効果
CO₂ →11%
削減

この場合のエコドライブとは、ふんわりアクセル（トラックの場合、早めのシフトアップ＋エンジン回転数を抑えた緩やかな発進）と信号待ちアイドリングストップなどです。（出展：2006年川崎市及び八都県市調査データ）